

# 京都国連寄託図書館 開館一周年を迎えて

京都国連寄託図書館は、この4月10日を以て開館一周年を迎えます。

アジア関係図書館内に併設され、開館当初は大学ホームページやプレスリリース、図書館利用案内等を通して告知がスタートしました。大学図書館と併設する施設のため、図書館の入口には2つの図書館があることが分かるように入口にプレートをつけたり、新たに専用カウンターを増設するなど、利用者に混乱が生じることのないように様々な工夫をしました。



大学の正面入口には館銘板が設置され、国連旗は図書館の開館日に掲揚しています。また、館内は国連加盟国の国旗が書架上に配置され、国連の資料がどの書棚にあるか目で見て分かるようになっています。様々な国の国旗の賑やかさで「利用してみたい」「また来てみたい」と思っただけのような雰囲気作りに心がけています。



現在、国際連合(United Nations)は「SDGs (エス・ディー・ジーズ)」の目標達成に向けて、世界各国に対して様々な取り組みを推進しています。

SDGsとは、2015年9月に国連サミットで採択された『Sustainable Development Goals』の略で、『持続可能な開発目標』—人間や地球が繁栄するために持続可能でよりよい世界を目指す国際目標—のことです。2030年に向けて、具体的には17のゴール、169のターゲットで目標が構成されています。

当館は、図書館として資料を提供する役割をはじめ、広報発信拠点としての役割も担い、このような全世界的な取り組みを皆さんに知っていただくべくサービスを提供してまいります。機会がありましたら是非、京都国連寄託図書館にお立ち寄りください。